

# 岡山畜産便り

## 2024 10



津山市 甲元 敬司さん(酪農)

### も く じ

#### 〔自給飼料施策〕

##### 『耕畜連携』の取組み

岡山県農林水産部畜産課 ..... 1

#### 〔技術のページ〕

##### 和牛子牛用飼料としての稲わらの更なる利用

畜産研究所 生産性向上研究グループ ..... 3

#### 〔県民局だより〕

##### 美作地域畜産振興協議会の活動について紹介します！

美作県民局畜産第一班 ..... 5

#### 〔家保のページ〕

##### 酪酸混合飼料を用いた子牛発育促進対策

高粱家畜保健衛生所 ..... 7

#### 〔家畜衛生情報〕

##### 家畜防疫互助基金支援事業の概要と現状

(一社)岡山県畜産協会 家畜衛生部 ..... 9

#### 〔共済フレッシュさん〕

##### 獣医師として2年目を迎えて

美作家畜診療所 豊島 麻美子 ..... 11

#### 〔畜産現場の声〕

##### 地域の農地を守りたい

津山市 甲元 敬司 ..... 12

#### 〔センムのヒトリゴト〕

##### 共存共栄、ビールがあれば

(一社)岡山県畜産協会 中塚 陽二郎 ..... 14

# FOSS

## 乳・乳製品・飼料分析ソリューション



### 【BacSomatic™】

乳中の体細胞数・細菌数を同時に短時間で測定可能！

乳房炎、衛生状況のモニタリングや原料乳受け入れ現場でのスクリーニング検査の効率化を実現できます。

測定項目：細菌数(IBC、CFU)、体細胞数

測定対象：生乳



### 【MilkoScan™ Mars】 FT-IR乳成分分析装置

生乳成分を1分で測定する、コンパクトモデル！

生乳の品質管理、原料乳の標準化、製造管理の効率化を高い次元で支援します。

測定項目：脂肪、タンパク、乳糖、全固形、無脂固形、氷点(加水)

測定対象：生乳、製品乳



### 【NIRS™ DS2500F】 NIR分析装置

飼料、飼料原料の複数成分を1分で同時分析！

TMRセンターでの飼料設計、飼料品質の最適化を支援します。

測定項目：脂肪、タンパク、水分、灰分、スターチ、粗繊維など

測定対象：飼料、飼料原料、配合飼料

### フォス・ジャパン株式会社

セールス・サービス拠点：札幌・大阪・福岡

TEL: 03-5962-4811 / Mail: info@foss.co.jp

ANALYTICS BEYOND MEASURE

ホンモノは、おいしい。

# OHAYO

## 岡山県産 生乳100%使用

# 晴れの国 おかやま牛乳



©岡山県「ももっち」

岡山県産の牛乳を100%使用した牛乳です。  
岡山県下、各地域から集乳した生乳を使用しました。



www.ohayo-milk.co.jp

オハヨー乳業株式会社

## 〔自給飼料施策〕

# 『耕畜連携』の取組み

岡山県農林水産部畜産課

### 1 はじめに

県では、令和4年度から5年度にかけて、飼料高騰対策として緊急的な支援を実施しました。併せて、輸入飼料依存からの脱却の一つの手段として、耕畜連携体制の構築や課題の解決に向け、施策を展開していますので、最近の取組について紹介します。

### 2 これまでの取組み

令和4年度末から耕畜連携の推進に取り組んでいます。具体的には、水田を有効活用し、県産飼料の生産拡大を進めるものです。

#### (1) 需要の掘り起こしと利用の促進

まず、令和4年度に引き続き、畜産農家における県産飼料の需要量の調査を行いました。調査結果を基に、県のホームページに情報を掲載し、地域農業再生協議会や関係機関へ情報提供を行うとともに、マッチング支援の手法等を庁内の関係部局と検討を進めました。

次に、美作地域において、県産飼料利用拡大研修会を開催し、県産飼料利用農家による事例紹介、牧場視察及び意見交換を行い、畜産農家と耕種農家の相互交流と取組推進を図りました。その後、美作地域においてWCS用稲のマッチング支援が進みました。

＊詳細は2024年1月号を参照してください。



写真1 牧場において畜産農家が飼料の生産利用について説明

#### (2) マッチング支援

需要量調査に基づき、県民局畜産班が中心となり、市町村、JA等と連携し耕種農家を個別訪問して飼料生産を働きかけるとともに、畜産農家、コントラクター組織との連絡調整を行い、マッチングを進めました。

マッチング支援実績は表のとおりでした。マッチング面積に対して、支援中の面積及びその他面積があることから、マッチングの余地があり、今後も進めていきたいと思っています。

表 R5年度マッチング支援実績

| 区 分            | R4        | R5        |             |           |           |
|----------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|
|                | 需要量<br>面積 | 需要量<br>面積 | マッチング<br>面積 | 支援中<br>面積 | その他<br>面積 |
| WCS用稲          | 12.5ha    | 47.0ha    | 9.4ha       | 22.6ha    | 11.8ha    |
| 飼料作物（青刈とうもろこし） | 3.2ha     | 9.0ha     | 0ha         | 9.0ha     | 0ha       |
| 稲わら            | 80.2ha    | 87.9ha    | 0ha         | 86.2ha    | 1.7ha     |
| 飼料作物（牧草）       | 19.4ha    | 21.4ha    | 0ha         | 21.4ha    | 0ha       |

※支援中面積は、対応に至っていない面積を含む面積

また耕畜連携を進める上で、市町村、JA、地域農業再生協議会等の関係機関が

情報を共有しながら支援することが重要であることから、「関係機関向け耕畜連携マッチング支援マニュアル」を作成し、配布しました。

このほか、大学教授による耕種農家に対する講座の開催や、コントラクター組織との意見交換等、耕畜連携に関する取組に対して支援を行いました。

以上の取組から、市町村内のマッチング支援の方法は、県内他地域の事例を参考とすることができること、耕種農家と畜産農家が直接顔を合わせて話をする機会は少なく、顔を合わせる機会が重要なこと、県産飼料の利用促進には、利用している畜産農家による事例紹介が有効であることを再認識しました。

### 3 今年度の進め方

県、農業者団体等による県農業再生協議会、市町村、農業者団体等による地域協議会、おからく、畜産協会等と情報共有や耕畜連携のビジョンの共有を図り、各方面の意見を踏まえて飼料生産・利用の一層の拡大に努めています。

#### (1) 需要の掘り起こし及び生産・利用の促進

県産飼料の需要を掘り起こすため、畜産農家に対する需要量調査を引き続き行うとともに、経営モデル資料や利用農家の事例紹介等を活用し、県産飼料のメリット等の周知と理解醸成を図ります。併せて、耕種農家への巡回指導等により、飼料品質の向上を促し、畜産農家との信頼関係の醸成を図るとともに、供給量調査（リスト化）を進めます。

#### (2) 顔合わせの場づくり等によるマッチング支援

需要量調査結果に基づき、飼料を生産し

ている耕種農家に、生産量の拡大を提案するとともに、新たな生産者の確保や広域的なマッチングを進めるため、マッチング支援マニュアルを活用し、事例の横展開を図りつつ、地域において、耕種農家と畜産農家等が直接顔を合わせる研修会の開催等、マッチングの契機となる相互交流の場づくりを積極的に行います。また、関係機関・農業団体と連携し、広域的なマッチングを支援する方法の検討を進めます。

#### (3) コントラクター組織の体制整備

コントラクター組織の強化・育成に向け、岡山県コントラクター協議会等との情報共有の強化や、補助事業を活用した機械の共同利用などの組織間連携の取組等を畜産・耕種農家の双方に提案するとともに、コントラクター組織が、効率的に収穫作業できる作付け体系の確立など生産性や品質の向上も踏まえた体制を整備します。

#### (4) その他

今年度は、昨年度の取組でわかったことを踏まえ、調査等を行う予定です。また各種施策に取り組んでいるほか、昨年度に引き続き、耕畜連携の研修会として、稲WCSの利用推進研修会、品質の調査を計画しています。

### 4 おわりに

今回、県の取組状況等について紹介しましたが、県では飼料価格高騰や高止まりに対応するために、中長期的な視点から耕畜連携の取組を推進しています。耕種農家・畜産農家のマッチング支援や関係機関との連携を強化し、持続的な畜産経営に向けて取り組んでまいりますので、各種調査等への御協力をお願いします。

## 〔技術のページ〕

# 和牛子牛用飼料としての稲わらの更なる利用

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 生産性向上研究グループ

### 1 はじめに

現在、国際情勢などを背景とした資材価格の高騰が続いており、特に、輸入飼料価格の高止まりが畜産経営全体に大きな影響を及ぼしています。

和牛繁殖経営においては、生産費の約4割を飼料費が占めており、最近では子牛価格も下落しているため、経営継続のためには、飼料費の削減が必要となっています。

そこで、当研究所では、飼料費削減のため、稲わらに着目し、和牛子牛用飼料としての利用性を検討したので、紹介します。

### 2 稲わらの利用方法

当研究所では、3か月齢から6か月齢の和牛子牛にドライTMRを給与しています。

TMRとは、Total Mixed Rationの略で、濃厚飼料と粗飼料をバランスよく混合しており、その中でも乾燥しているものはドライTMRと呼ばれ、最近では利用する繁殖農家も増えてきています。ドライTMRのメリットは、給餌作業の省力化や保存性の良さ等があります。

一方で、稲わらは、肥育牛や繁殖雌牛に給与されることが多いですが、離乳後から市場出荷までの期間を通して和牛子牛に多給している例は嗜好性などの理由からあまりみられません。

そこで、ドライTMRに使用している輸入乾草の一部を細断した稲わらに置き換え、また、6か月齢から9か月齢は、輸入乾草と稲わらを組み合わせ、発育やコスト削減効果等を調査しました。

### 3 給与メニュー

現在、当研究所で給与しているドライTMR（以下、従来TMR）は、スーダングラス、オーツヘイ、チモシー、アルファルファ、配合飼料、大豆粕を、粗飼料と濃厚飼料の割合が1：1になるようにバランスよく混合しています。

今回は、この従来TMRの粗飼料のうち約47%を稲わらに置き換えたドライTMR（以下、稲わらTMR）を調製しました。

なお、稲わらTMRの混合割合（現物）の詳細は、表1のとおりで、TDN（可消化養分総量）は、稲わらTMRが57%、従来TMRが56%でした。

表1 稲わらTMRの混合割合

|         | 稲わらTMR(%) | 参考：従来TMR(%) |
|---------|-----------|-------------|
| 稲わら     | 15.4      |             |
| スーダングラス |           | 12.6        |
| オーツヘイ   |           | 12.6        |
| チモシー    | 17.9      | 25.1        |
| アルファルファ | 10.3      | 2.7         |
| 配合飼料    | 44.9      | 44.8        |
| 大豆粕     | 11.5      | 2.2         |

### 4 給与試験

給与試験は、当研究所で飼養している離乳後（3か月齢）の和牛子牛5頭（去勢牛2頭、雌牛3頭）を用いて、市場出荷する9か月齢まで表2のとおり稲わらを用いた給与体系で飼養し、月1回体高と体重を測定して、発育を調査しました。

表2 稲わらを用いた給与体系

|        | 給与飼料    | 給与量(kg) |
|--------|---------|---------|
| 3～4か月齢 | 人工乳     | 0.6～0.8 |
|        | 育成用配合飼料 | 1.0～1.2 |
|        | 稲わらTMR  | 2.0～2.5 |
| 4～6か月齢 | 育成用配合飼料 | 1.2～1.8 |
|        | 稲わらTMR  | 2.5～5.0 |
| 6～9か月齢 | 育成用配合飼料 | 4.0     |
|        | チモシー    | 3.0～3.6 |
|        | 稲わら     | 1.0～3.0 |

## 5 試験結果

発育状況の確認は、公益社団法人全国和牛登録協会が示す発育基準値と比較して行いました。

その結果、去勢牛については、体高（図1）・体重（図2）ともに平均値を大幅に上回る良好な発育を示しました。

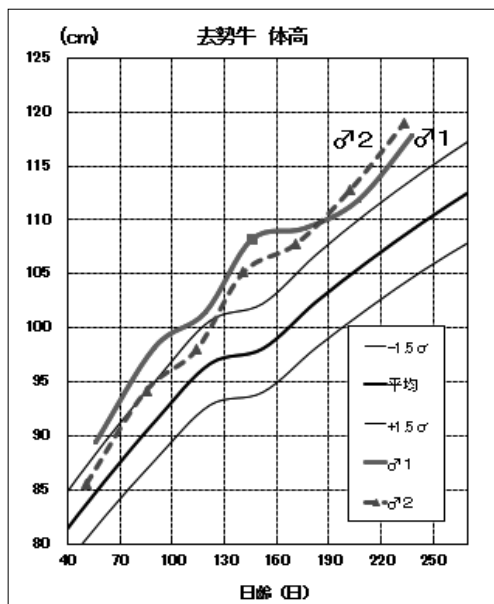


図1 去勢牛の体高

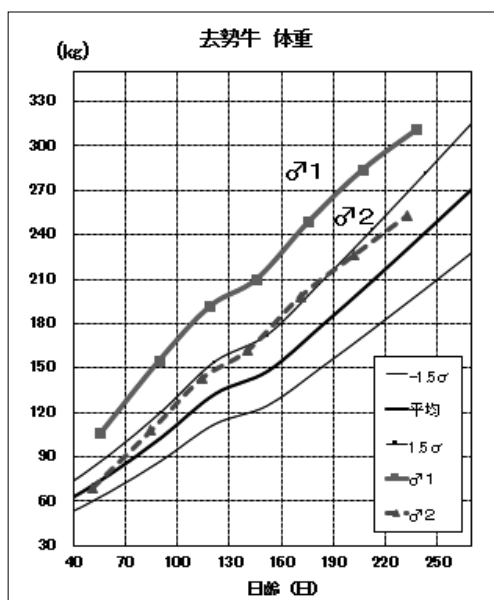


図2 去勢牛の体重

また、雌牛については、3頭のうち1頭が平均体高をやや下回りましたが、9か月齢では概ね平均値となりました。その他2頭については、去勢牛と同様に平均値を上回る良好な発育を示しました。



稲わらTMR



試験終了時（9か月齢）の去勢牛

## 6 コスト削減効果

仮に堆肥交換や自家栽培で稲わらを無料で入手できた場合、今回の稲わらTMRの1kg当たり単価は、約89円になります。

一方で、輸入乾草を使用した従来TMRは、1kg当たり単価が約103円なので、約14円コストを削減することができます。

また、3か月齢から9か月齢の試験期間中の飼料費は、稲わらを用いた給与体系の場合、合計で1頭当たり約57,120円となり、輸入乾草を用いた給与体系の場合は約64,436円なので、1頭当たり約7,316円の削減となります。

## 7 最後に

今回は、輸入乾草の半分程度を稲わらに置き換えて和牛子牛に給与しましたが、和牛繁殖経営の収益性を改善するためには、さらなる飼料費の削減が必要です。

来年度以降、当研究所では、稲わらだけでなく、稲WCS等の安価な県産飼料を最大限に活用した飼養管理技術を検討する等して、農家への支援を行っていきます。

〔県民局だより〕

# 美作地域畜産振興協議会の活動について 紹介します！

美作県民局畜産第一班

## 1. はじめに

美作地域畜産振興協議会（以下、「協議会」）は、美作地域の市町村及び関係団体で構成している畜産振興を図るための協議会で平成17年に発足しました(事務局 美作県民局)。今回は、本協議会の活動についてご紹介します。

## 2. 耕畜連携の取組推進

### (1) 現状

飼料価格高騰の影響により、畜産経営は大きな危機に直面しています。県では、耕畜連携による稲WCS生産利用など飼料増産に向けた取組を進めているところです。昨年度は、(一社)岡山県畜産協会と協議会で「美作地域稲WCS生産利用研修会」を開催（本誌2024年1月号で紹介）し、新たな耕畜マッチングにもつながる契機ともなりました。一方で、中小規模経営が多い美作地域では、ロールの取扱や安定した飼料の品質及び供給量の確保といった課題もあり、取組拡大の鍵ともなっています。

### (2) TMRセンター視察研修

耕畜連携の課題を解決する方策として、地域産粗飼料や未利用資源を利用したTMR飼料の製造・供給の取組が挙げられますが、県内での事例はありません。そこで、今年度の協議会活動では、広島県庄原市にある和牛TMRセンターの視察研修を令和6年9月に実施しました。

全農広島県本部は、肉用牛農家の高齢化、担い手不足や中山間地域の水田の有効活

用といった課題に対応するため、稲WCSを利用したTMR技術に着目し、平成29年度に畜産クラスター事業を活用して和牛TMRセンターを整備し、平成30年3月に稼働を開始しました。

和牛専用TMRの原料には、稲WCS、ビール粕、ふすま、おから、大豆粕、トウモロコシ、乾牧草等が使用されています。主原料である稲WCSは、庄原市内で作付(約150ha)され、(株)庄原市農林振興公社が収穫調製したものを購入しています。



写真1 原料（ビール粕）

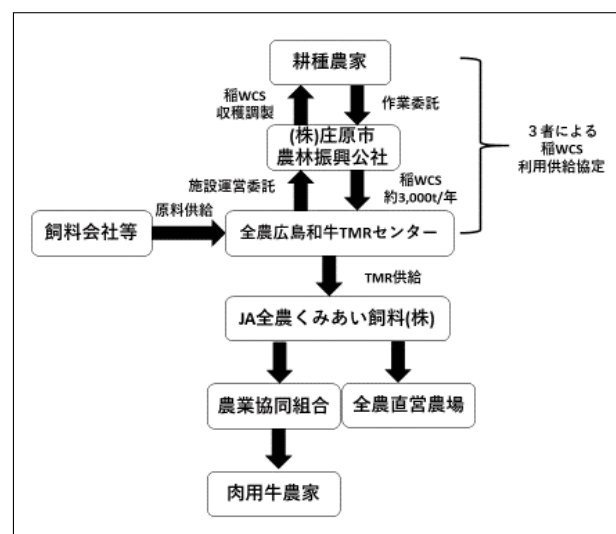


図1 取組フロー図

これらの原料を混合し、2軸プレス式六面体包装機でキューブ型のラップベール(約500kg)に仕上げます。ラップベールの他、小規模農家向けに小袋(13～18kg)のTMRも製造しています。製造されたTMRはJA全農くみあい飼料(株)を通じて、全農広島直営牧場4農場と県内和牛農家約30戸へ供給されます。(図1)

TMRセンターを核とした飼料生産・供給の取組は、畜産農家のコスト削減や労働負担軽減といったメリットが挙げられます。一方、取組のスキームや継続可能な事業計画の策定等、多くの課題もあります。協議会では、広島県におけるTMRセンターの取組などを参考にして、引き続き美作地域での耕畜連携の取組を推進していきたいと考えています。



写真2 和牛専用TMRのベール

#### 【和牛専用TMRセンターの稼働状況】

- 製造数量：約700トン/月
- 最大製造量：48トン/日
- 製造能力：6トン/時間
- 銘柄数：和牛用4銘柄  
(繁殖、育成、肥育前期、肥育後期)

#### (3) 広島和牛資料館見学

広島和牛資料館は全農広島和牛TMRセンターと同敷地内に設置されており、平成30年3月に広島県庄原市に開設されました。視察研修や取引先(仲卸、量販店)との商

談の際に公開しており、一般公開はされていません。

広島和牛資料館では、広島和牛の歴史はもとより、全国和牛能力共進会での実績や広島県の和牛ブランドである「広島牛」、「元就」、「比婆牛」、「神石牛」の紹介及びTMRセンターの概要について学ぶことができます。

#### 3. 堆肥の利用促進

美作地域での堆肥の利用を促進するため、令和2年に作成した堆肥マップを令和6年版に更新及び冊子の作成を行いました。

掲載を希望された約30件の堆肥生産者の成分や価格などの情報を掲載しています。供給先が見つからない、希望する堆肥が手に入らないなどお悩みの場合は、堆肥マップをご活用ください。

管内市町村、農協、普及センターに冊子を配布しております。また、美作県民局畜産第一、第二班でも保管していますので、必要な場合はお問い合わせください。

また、下記URLにWeb版を掲載しております。QRコードからも確認できますので、ご活用ください。

(<https://www.pref.okayama.jp/page/654772.html>)



#### 4. おわりに

美作地域畜産振興協議会での取組は多方面に渡ります。昨年度の堆肥分析・マップの制作は地域の耕種農家に直接還元でき、今年度の視察研修会で学んだ知識は地域の取組の参考にできます。今後も様々な取組を活かして活動し畜産振興に役立てることができるよう尽力します。

# 酪酸混合飼料を用いた子牛発育促進対策

高梁家畜保健衛生所

## 1 はじめに

現在、和牛子牛価格の低迷した状態が続いており、和牛繁殖農家はより一層、肥育素牛購買者が求める健康で発育の良い子牛づくりを目指さなければなりません。そこで、粗飼料を十分に摂取できるルーメンづくりを目的に、酪酸を主成分とした混合飼料添加試験を実施した事例について報告します。

## 2 酪酸の特徴

酪酸は、ルーメン内で生産される揮発性脂肪酸 (VFA) の1つで、子牛の消化管発達を促進させ、小腸での栄養吸収を増加させることで、飼料摂取量の増加や飼料効率改善が期待できるといった特徴があります。

## 3 試験実施牧場の概要と課題

今回の試験を取り組んだ牧場は、繁殖牛70頭、育成牛10頭、育成子牛30頭、哺育牛20頭の繁殖経営です。

令和4年以前の当該牧場の肥育素牛において、慢性的な消化不良の様な症状が多数確認されており、触診検査等の結果、慢性的な誇張症の疑いがありました (図1)。



図1 慢性的消化不良を呈す肥育素牛

## 4 慢性的な鼓脹症の原因と対策

慢性鼓脹症の原因は様々ありますが、今回の事例では当該牧場の飼養管理におい

て、濃厚飼料の多給や粗飼料の摂取不足などによるルーメン発酵の異常が一番の原因と考えられました。

その対策として、ルーメン絨毛の発達を促進させ、濃厚飼料給与量に見合った量の粗飼料を摂取できるルーメンづくりが重要であると考えられました。

## 5 酪酸混合飼料添加試験概要

今回、ルーメン絨毛の発達を期待し、酪酸を主成分とする混合飼料の添加試験を令和3年12月から実施しました。

試験内容は、酪酸を主成分とする混合飼料 (ペレット) をスターターに混ぜて1頭当たり50g/日を生後90日齢まで給与しました。

発育の評価には牛の体測データ (体重・体高・胸囲・腹囲) を用い、代謝異常の有無の確認と粗飼料の摂取量チェックを目的に血清生化学検査を実施しました。

酪酸混合飼料を給与した試験区と、給与前の期間を対照区として比較しました (図2)。

### 1. 体測

- 試験区 (令和4年4月～令和5年11月)
- 対照区 (平成31年4月～令和3年3月)
- 体重・体高・胸囲・腹囲

### 2. 血清生化学検査

- 試験区 (令和5年10月～11月)
- 対照区 (平成31年4月～令和2年3月)
- GOT, GGT (代謝異常の有無)
- T-Cho (粗飼料の摂取量)

図2 調査期間・項目

## 6 調査結果

調査は120～149日齢、150～179日齢、180～209日齢、210～239日齢の4区分の牛を対象としました。統計学的検定法における相関については、P値が0.05より小さい場合は有意差があり (\*\*)、P値が0.05以上、0.1より小さい場合は傾向がある (\*) とし

ました。各体測項目において試験区のほうが数値が高い傾向にあるものがみられました（図3～6）。

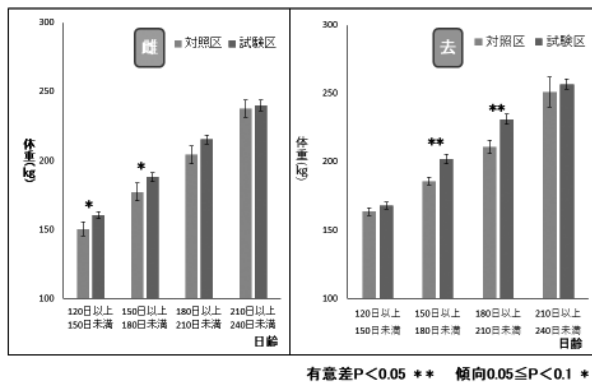


図3 体重の推移

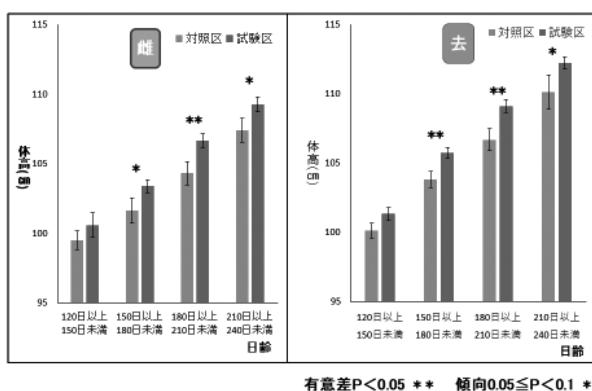


図4 体高の推移

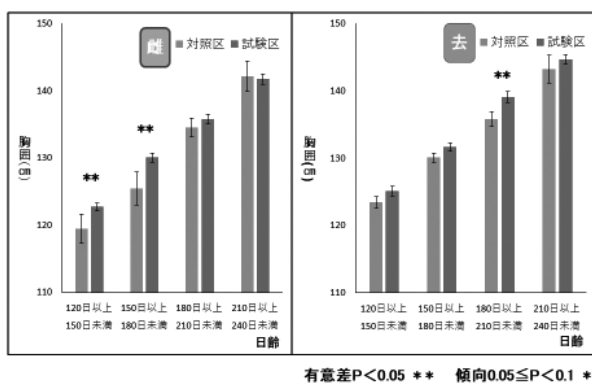


図5 胸囲の推移

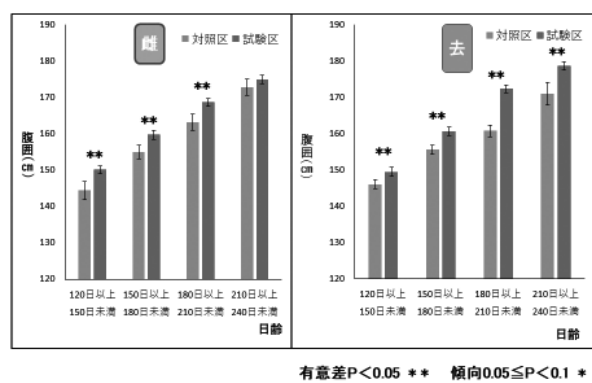


図6 腹囲の推移

また、「胸腹差」はルーメンの発達の指標の1つとされていますが、これについては、雌では全区分、去勢は3区分で有意差が認められました（図7）。

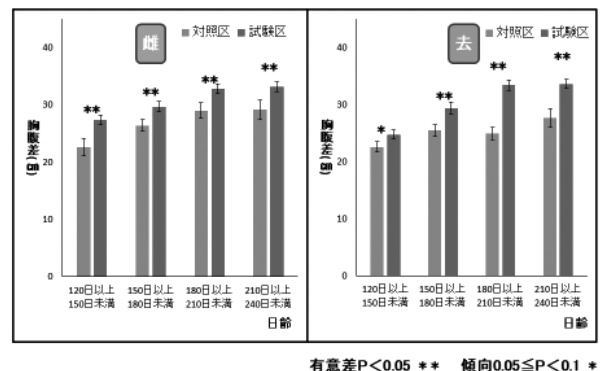


図7 胸腹差の推移

また、血清生化学検査結果では、GOT、GGTの数値はともに正常範囲内で、肝機能に異常は認められず代謝は正常で、またT-cho値は試験区の方が高いことから、粗飼料の摂取量が増加していることが示唆されました（図8）。

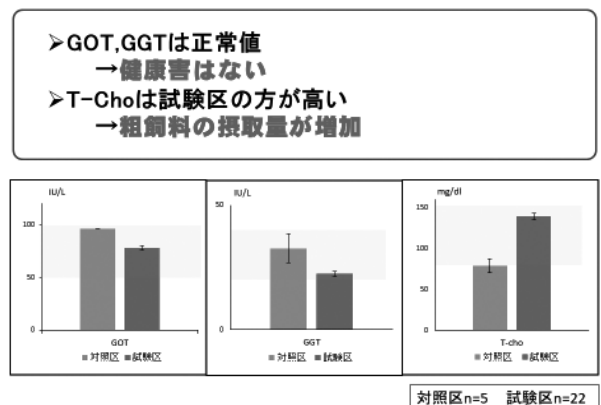


図8 血清生化学検査

## 7 まとめ

酪酸混合飼料を給与した試験区の牛は対照区と比較し、体重、体高、胸囲、腹囲すべてにおいて、発育が良好でした。特に、胸腹差は統計的にも有意な差が認められました。

T-Cho値から試験区の牛の粗飼料摂取量の増加が示唆されました。

これらのことから、発育指標の改善に酪酸が有効であると推察され、今回の給与試験で得られた知見を基に、和牛繁殖農家の哺乳期からの飼養管理技術の向上を図っていかうと考えます。

## 〔家畜衛生情報〕

# 家畜防疫互助基金支援事業の概要と現状

一般社団法人 岡山県畜産協会 家畜衛生部

### 〇はじめに

口蹄疫、豚熱等の家畜伝染病は非常に感染力が強く、畜産経営への影響は甚大です。口蹄疫は平成22年を最後に国内での発生はありませんが、豚熱は現在も国内での発生がみられています。また、近隣国ではアフリカ豚熱の発生も報告されており、我が国への侵入のリスクが高まっている状況です。本事業は、このような家畜伝染病が発生した場合の経営再開を支援するものです。

### 〇事業概要

家畜防疫互助基金支援事業は、口蹄疫、牛疫、牛肺疫、豚熱、アフリカ豚熱、高及び低病原性鳥インフルエンザの7疾病を対象としています。このうち、当協会では牛及び豚について取扱窓口を行っています。これらの家畜伝染病が発生した際に、経営再開までに必要な経費を相互に支援するため、生産者自らが積立する仕組みに国（（独）農畜産業振興機構）が補助する事業です。家畜の殺処分等を行った農場が経営を再開する際に互助金を交付することで、異常発見時の早期の届出を促すとともに、早期の経営再開を可能にし、生産者が安心して経営できる環境を整えることを目的としています。

今期の事業実施期間は令和6年度から令和8年度の3年間で、現在は新規就農者のみ加入を受け付けています。

### 〇互助金

互助金を交付する場合には、生産者積立金と補助金を2分の1ずつ拠出して交付します。ただし、互助金の交付には飼養衛生管理基準を遵守する必要があります。まん

延防止に必要な対策を講じていなかった場合、互助金が減額又は支払われない可能性がありますので、ご注意ください。

今期事業期間からの変更点として、従来は疾病発生農場での経営再開のみ交付対象でしたが、農場を移転して経営再開する場合も、互助金の交付対象となりました。また、互助金を申請する場合は、疾病が発生した日から原則3年以内の申請期限が設けられました。さらに、契約農場を家畜伝染病予防法に基づいた定期報告を行う農場ごととすることを厳格化されました。

### 〇生産者積立金の経理上の注意

生産者積立金は、積立時には仮払金として処理してください。対象疾病の発生に伴う互助金の交付により生産者積立金を取り崩される場合は、生産者積立金の返戻時に取り崩し金額を通知しますので、その金額を経費として処理してください。

### 〇岡山県の加入状況

表1 岡山県の加入状況

|   | R3-R5  |     | R6-R8  |     |
|---|--------|-----|--------|-----|
|   | 加入頭数   | 加入率 | 加入頭数   | 加入率 |
| 牛 | 43,357 | 86% | 44,463 | 91% |
| 豚 | 32,206 | 74% | 33,311 | 76% |

（注）加入率は県調査のデータに基づく。

岡山県では、今期事業期間に牛では44,463頭、豚では33,311頭加入しており、加入率は牛91%、豚76%と県内農家の大部分が加入しています。畜産農家にとって厳しい情勢が続いていますが、加入率は前期事業期間（令和3年～令和5年度）と比較して同等以上となっています。

## ○交付状況

牛については、前期事業期間に対象疾病の発生が無く、事業が完了したため、前期の生産者積立金は全額返戻されました。

豚については、前々期事業期間（平成30年～令和2年）に豚熱が発生し、経営を再

開した農場に対して、互助金が交付されています。また、前期事業期間の発生農場では、経営再開が完了していない農場があるため、生産者積立金の残額が確定しておらず、返戻額や返戻時期は未定となっています。

## ○生産者積立金の単価と互助金の上限単価（令和6～8年度）

1頭当たり、単位は円

|   | 家畜の区分                             | 生産者積立金単価 | 互助金の交付上限単価 |
|---|-----------------------------------|----------|------------|
| 牛 | 1 乳用牛                             |          |            |
|   | (1) 24か月齢以上                       | 245      | 200,000    |
|   | (2) 12か月齢以上24か月齢未満                | 90       | 27,000     |
|   | (3) 雌子牛12か月齢未満                    | 90       | 23,000     |
|   | 2 肉専用種                            |          |            |
|   | (1) 種繁殖雌牛（24か月齢以上）                | 235      | 198,000    |
|   | (2) 繁殖雌牛（12か月齢以上24か月齢未満）          | 125      | 56,000     |
|   | (3) 肥育牛（12か月齢以上）                  | 125      | 56,000     |
|   | (4) 子牛（12か月齢未満、肉専用種繁殖雌牛を含む。）      | 125      | 56,000     |
|   | 3 交雑種肥育牛                          |          |            |
|   | (1) 12か月齢以上                       | 95       | 32,000     |
|   | (2) 12か月齢未満                       | 95       | 32,000     |
| 豚 | 4 乳用種肥育牛                          |          |            |
|   | (1) 12か月齢以上                       | 90       | 27,000     |
|   | (2) 12か月齢未満                       | 90       | 23,000     |
|   | 1 家族型                             |          |            |
|   | (1) 繁殖豚（雌）                        | 340      | 49,000     |
|   | (2) 繁殖豚（雄）                        | 340      | 49,000     |
|   | (3) 肥育豚                           | 60       | 10,000     |
|   | 2 企業型 ※発生から経営再開まで、1人以上の雇用が維持される経営 |          |            |
|   | (1) 繁殖豚（雌）                        | 380      | 56,000     |
|   | (2) 繁殖豚（雄）                        | 380      | 56,000     |
|   | (3) 肥育豚                           | 70       | 11,000     |

〔共済フレッシュさん〕

## 獣医師として2年目を迎えて

美作家畜診療所 豊島 麻美子

初めまして。農業共済組合美作家畜診療所の豊島麻美子です。昨年大学を卒業し共済に就職しました。今回は私の自己紹介をさせていただきますと思います。

出身は福井県です。岡山県にも牛にも縁のない暮らしをしていましたが、大学2年時に大学の付属牧場で行われた実習がきっかけで牛に興味を持つようになりました。その後、共済や地元の公務員など様々なところで実習をさせてもらい岡山の共済を選びました。

幼い頃から動物は好きで、昔からペットに亀を飼っていました。当時小学生だった私は亀だけでは飽き足らず犬も飼いたいと主張し、両親に却下され続けていましたが、根負けしたのか10歳の誕生日をきっかけに犬を飼おうという話になりました。下調べのためにと深く考えず適当に入ったペットショップで白いチワワに一目惚れしてしまい、その子をお迎えすることになりました。獣医という職業を意識するようになったのも犬を飼うようになってからだと思います。普段は食が細いのに高価なご飯はすぐに完食したり、雪の日に散歩に行きたがるので試しに外に出したら寒かったのかすぐに引き返してきたり、自分から入った隙間に嵌まって出られなくなり困っていたりと面白いエピソードには事欠かず、いつも家族に笑いをもたらしてくれていました。



大学は東京の私立大学に通っていました。私立ということで学費が莫大な上に、東京での一人暮らしにもお金を取られるため、授業以外ではかなり多くの時間をバイトに費やしていた気がします。コロナ禍に入ってから、原則登校禁止、オンラインでの授業が主体になる上にバイトも入れない状況になり、家に引きこもることになりそうでした。しかし、暇なら研究室に来て卒論の実験を進めろと先生からのお言葉があり、平日はほとんど毎日研究室に通っていました。身柄は研究室に拘束されていましたが、余裕があるときはパンを焼いたり、サーターアンダギーを揚げたり、たこ焼きを焼いたり、ケーキを買って室員の誕生日をお祝いしたりとかなり自由に好き勝手にすごしていました。大学生らしいことができる時間は少なかったかもしれませんが、とても楽しい学生生活を送ることができました。進学を許してくれた両親には大変感謝しています。

最近はこの生活に少し慣れてきたこともあり、休日は旅行に行くことも多くなりました。大学生の頃は関東周辺を旅行することが多かったですが、岡山に来てからは広島や兵庫など今までは気軽に行けなかった県に行けるようになり、とても満喫しています。今年の夏は以前から気になっていた鳥羽水族館のラッコを生で見ることができて感激しました。小型犬ほどの大きさを想像していましたが、2回りほど大きかったです。

以上で私の自己紹介を終わります。獣医としては未熟な部分ばかりですが、勉強を続け少しでも早く1人前になれるよう頑張りたいと思います。これからどうぞよろしく願いいたします。

## 〔畜産現場の声〕

# 地域の農地を守りたい

津山市 甲元 敬司

水稻・酪農家の次男として育ち、中国四国酪農大学校へ進学し、平成元年3月に卒業後はそのまま就農予定でした。しかし当時の津山市では、受精卵移植技術の普及に向けて取組始めた頃で、移植師免許を持った授精師を探していました。そして津山市農協からの誘いもあって同年4月に畜産係に就職しました。

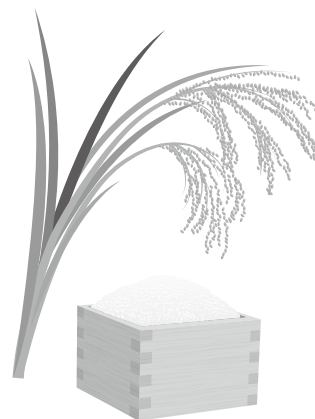
翌年、津山市ETセンターとして農協内に検卵から凍結などの処理施設も整備されました。当時は新鮮卵移植はともかく凍結して融解すれば死滅卵となり、津山家畜保健衛生所と一緒に何度も採卵・凍結の試験を繰り返し凍結液などの工夫にチャレンジしていました。その当時農協には授精師が2名おり、新人の自分は授精業務は補助的で一般市・子豚市・肉豚出荷・米・野菜など浅く広く担当し、今となってはいろいろな経験ができたと思っています。平成2年度より津山市農協酪農部を担当しました。その頃は育成農家もあり部会員131戸でしたが現在旧津山市内の酪農家は8戸と激減しています。

4年間勤めたのち平成5年4月に念願の酪農家としてスタートしました。当時の規模は乳牛30頭、水稻1.4haくらいでした。農協を退職し就農にあたり両親からは猛反対。後から思えば2世帯が生活できる規模ではありません。その頃は受精卵移植定着に向けた補助金もあり民間の体外受精卵移植が盛んで、アルバイトでホクラクETセンターの移植師としてほぼ毎日移植や採卵助手、農協の交代授精師要員として退職後

20年間使ってもらいました。現在は外部への授精活動はありません。

平成10年に現在の48頭繋ぎ牛舎を新築し移転。育成舎・乾乳舎を増築し増頭！の夢もありましたが、今となれば夫婦で50～60頭が限界と感じています。就農して30年が過ぎましたが、これという特色がある牧場ではありません。牛群平均乳量9,500kg、ホルスタインの性判別精液を利用し、和牛受精卵移植という基本スタイル。判別精液・凍結受精卵も以前に比べ受胎率がどちらも良くなり、授精所の処理技術向上に感謝します。数年前、乳代送金額より子牛販売高の方が多かった年がありました。が、この和牛子牛価格低迷は想像していませんでした。ここ数年の飼料高騰には全畜産農家が苦しんでおられますが、粗飼料自給率向上と言葉では簡単でも現実にはなかなか問題があります。各地で耕作中止農家が増えていますがわが地区も同じで農地を荒らすことへの罪悪感を持たれなくなっています。

10数年前くらいから耕作依頼が増え始め小さな町内ですが農地の殆どと関わるようになりました。と言っても作付け面積560a



あって1圃場平均は約7aと山間部のため作業効率は良くありません。もともと水稲酪農家であるため現在は水稲&イタリアン。スーダン&イタリアン。そしてスーダン&食用小麦の組み合わせで作付けしています。津山市では津山小麦として作付けを推奨されておりパン用小麦「せときらら」を約200a栽培。小麦は水稲より多く堆肥投入が可能で敷料として麦藁も採れ助かっています。WCSは作っていません。



酪農家が水稲や小麦を植えるの？と疑問を持たれたことがあります。1番の理由は酪農以外の収入手段。稲刈りや籾の乾草調整受託もやっており、正直この不景気の中でありがたく思っています。湿田や乾田などの土地条件に合わせて作物を選ぶことで作業の分散につながっています。水田活用補助金等の問題がありますが、生まれ育った地域を荒廃させたくありません。数年後には町内全ての農地を管理予定です。

何歳まで働けるか？を考える年が近づいていますが畜産農家だからできる地域貢献と!! 1年でも長く続けたいと思います。



## 〔センムのヒトリゴト〕

# 共存共栄、ビールがあれば

一般社団法人岡山県畜産協会 中塚 陽二郎

世の中のパワーバランスが崩れ、混沌とした激動の時代がやってくる。国民は平和を望んでいるにもかかわらず、ロシアのウクライナ侵攻、パレスチナ問題、迫りくる中国の脅威など、少数の権力者の武力による理不尽な現状変更が公然と行われようとしている。

世界中で地域紛争が絶えず、数十年の平和も維持できない現実を目の当たりにして、人類の愚かさ、傲慢さに、怒りさえ感じてしまう。我が国は歴史的にみても大陸と比較して外敵に侵略された経験が少なく、長らく平穏であったともいえるが、今後はそうも行くまい。日本が紛争に巻き込まれないよう願うばかりだ。

また、国内においても、若者の大都市圏への流出により地方の活力が低下し、地方での経済や教育などの格差が広がっている。資本主義の名のもとに採算や効率が重要視され、本来の目的を忘れて、それぞれが自分の都合、目先の損得勘定を優先する。良き日本の文化である「お互い様」「譲り合い」の精神が忘れ去られているようだ。

このような社会情勢の中、石破新政権が誕生した。日本や世界の未来を左右する重大な局面を迎えている今、新政権には、政治への信頼回復、国民尊重、そして世界との共存共栄に向けた施策を大胆に展開していただきたい。特に、地方創生、農山村漁村の生産基盤の維持強化には、国の積極的な振興施策、後押しが必要であり、地域の担い手がやりがいを感じる魅力ある産業とな

るよう期待してやまない。

ところで、10月になって、やっと涼しくなってきた。今年の夏は酷暑で出かけられなかったが、そろそろ里山へトレッキングに出かけたい。山野草や野生動物の観察は楽しいものだ。信州で家族とともにムササビが滑空する姿を観察できたときは、我を忘れて子供に帰ったように喜んだ。

しかしながら、最近、岡山県でもクマの目撃情報が急激に多くなっている。幸い、山の中で遭遇したことはないが、彼らのテリトリーにお邪魔していることを忘れてはならない。また、東北では街中でも目撃されることが増えている。クマとしても生存をかけて危険をおかしても人里に下りてきているわけだが、事故を未然に防ぐために適切な処置、予防策を講じるのは人間の方であり、クマが悪いと責めても意味がない。ここでも自然との共存共栄が大事なのである。

一方、見かけなくなった生き物もいる。ここ10年、県内でヤマセミを見たことがない。80円切手の図柄でお馴染みだったが、気候や環境の変化で繁殖しなくなった可能性がある。ほかにもスズメが減少したとか、ツバメが来なくなったとか、身近なところにも異変がある。良し悪しは別にして、ちょっと残念な気持ちになる。

身近な里山をゆっくり歩いていると見過ごしがちなちょっとした変化に気付かされる。あとは温泉に入ってビールを飲めば、明日も頑張ろうと思える。

# 動物用 カルシウム剤 ダービー

ダービーは貝化石の  
微粉末であり貝化石には  
カルシウムや各種ミネラルが  
豊富に含まれています。  
カルシウムの供給源として  
搾乳牛や子牛にも  
最適です。



おいしいよ〜♪



JYUCHIKU Co., Ltd. 株式会社ジュウチク

岡山市北区今保 99 番地 3

Tel.086-259-1230 Fax.086-259-1231

Email : jyuchiku@festa.ocn.ne.jp

健康な仔牛づくりへの  
一歩目はこれから！



弊社では、四十年余り培ってきた醗酵技術を用  
いることで、乳酸菌やその他の菌類を使用した良  
質な醗酵飼料を、肉用・乳用を問わず、全ての  
ステージの牛に対して提供しております。

また、弊社ではこれらの技術を利用したオーダー  
品の設計や生産、飼料米の粉碎などの原料の  
加工も承っております。

原料を持込での加工依頼や、御要望の数量の  
多寡を問わず、まずはお気軽に御相談下さい。

醗酵飼料のパイオニア

フタバ飼料株式会社

〒709-0841 岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1

TEL 086-953-0832 FAX 086-953-1870

E-mail : futabashiryo.co.jp

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

# 畜産映像情報 がんばる! 畜産! 7

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!

映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!

配信中の内容: 総集編 若き情熱! 全国和牛能力共進会  
特別区/畜産DX特集 総集編養鶏・  
養豚の今に迫る/コントラクターと連携  
大分県高田牧場/他



◀スマートフォンからはこちら  
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



お問合せ: (公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846

## ゲノミック評価を利用することで効率的な改良につながります。

### 当団のゲノミック評価が選ばれる理由



#### 生後すぐに検査が可能

産子の成績が必要であった従来の育種価と違い、  
生後すぐに評価が可能であり、同一受精卵で生産  
された全きょうだいの優劣も推定可能です。



#### 優れた種雄牛産子が現場で活躍

ゲノミック育種価の優れた種雄牛産子が全国肉用  
牛枝肉共助会などの名だたる枝肉共助会で活躍  
し高い評価を得ています。



#### 子牛販売での新たな付加価値に

ゲノミック評価結果を市場名簿へ掲載する市場が  
増えてきました。子牛販売の際の新たな付加価値  
情報として活用されています。



#### G-Eva®の活用で牛群改良が容易に

G-Eva®では最新の評価結果や各種グラフ機能  
による牛群管理、種雄牛との交配支援がWebアプ  
リによって閲覧が可能です。

「G-Eva®」を利用すれば  
最新の情報をチェックできます!!



G-Eva®の機能について  
Youtubeでご紹介しています。



▲G-Eva®の概要



▲新機能の説明

G-Eva®の  
申込みはこちら▼



すべて  
無料

### G-Eva® でできること

- ① スマホ・タブレットで閲覧が可能
- ② 交配のシミュレーションができる
- ③ 牛群をわかりやすくグラフ化
- ④ 子牛の生時体重を予測
- ⑤ 最適な交配を自動で提案

※当団のゲノミック評価を実施した方のみが利用できる  
サービスです。

### ゲノミック評価とは?

血統情報とDNA型情報を活用して肉用牛の遺伝情報能力を評価する方法です。  
家畜改良事業団では、ゲノミック評価値と呼ばれる評価値を提供しています。



岡山種雄牛センター TEL:0868-57-2475

# 高知競馬開催案内(2024)

地方競馬の収益金の一部は国内の畜産振興に役立てられています。

| 11月         |    |                   |    | 12月         |    |                   |    |
|-------------|----|-------------------|----|-------------|----|-------------------|----|
| 開催日         | 備考 | 開催日               | 備考 | 開催日         | 備考 | 開催日               | 備考 |
| 1 金         |    | 17 日 ○ ナイター       |    | 1 日 ○ ナイター  |    | 17 火              |    |
| 2 土 ○ ナイター  |    | 18 月              |    | 2 月         |    | 18 水              |    |
| 3 日 ○ ナイター  |    | 19 火              |    | 3 火         |    | 19 木              |    |
| 4 月         |    | 20 水              |    | 4 水         |    | 20 金              |    |
| 5 火         |    | 21 木              |    | 5 木         |    | 21 土 ○ ナイター       |    |
| 6 水         |    | 22 金              |    | 6 金         |    | 22 日 ○ ナイター       |    |
| 7 木         |    | 23 土 ○ ナイター       |    | 7 土 ○ ナイター  |    | 23 月              |    |
| 8 金         |    | 24 日 ○ ナイター       |    | 8 日 ○ ナイター  |    | 24 火              |    |
| 9 土 ○ ナイター  |    | 25 月              |    | 9 月         |    | 25 水              |    |
| 10 日 ○ ナイター |    | 26 火              |    | 10 火        |    | 26 木              |    |
| 11 月        |    | 27 水              |    | 11 水        |    | 27 金              |    |
| 12 火        |    | 28 木              |    | 12 木        |    | 28 土 ○ ナイター       |    |
| 13 水        |    | 29 金              |    | 13 金        |    | 29 日 ○ ナイター       |    |
| 14 木        |    | 30 土 ○ ナイター       |    | 14 土 ○ ナイター |    | 30 月              |    |
| 15 金        |    |                   |    | 15 日 ○ ナイター |    | 31 火              |    |
| 16 土 ○ ナイター |    | ナイター(14:45~20:50) |    | 16 月        |    | ナイター(14:45~20:50) |    |

## 訂正

本誌2024年8月号において、蒜山酪農農業協同組合の広告内記載EメールとHPアドレスに誤りがありましたので下記のとおり訂正します。

(誤)jersey@hiruraku.com

http://www.hiruraku.com

(正)hiruzenjersey-info@hiruraku.com

https://www.hiruraku.com

## あとがき

先日穂高連峰を単独で縦走してきた。国内登山道最難関ルートである。切れ落ちた崖の連続で緊張を強いられ、体力も限界ギリギリ、されど逃げ道はない。刻々と変化する状況に対して自分で決断していくことの連続。その決断が間違っていれば、命を落とす可能性もある。あらゆるものを背負って自分の決めた道を切り開いていく。普通に生きていくと、命をかけて判断をする機会はほとんどないものの、この行程はまさに会社経営と類似している。世の中の変化を敏感に感じとり、経営方針の転換を即座に決断する。間違えば倒産につながる。そのような経営者に助言する指導者の責務はとてつもなく重い。従来の経験則による指導は、先行き不透明の今の世の中には通用しない。過去の延長線上に未来はない。指導者はその事を肝に銘じてほしい。(H.F)

## ホットニュース

### 本会川崎技師が酪農実習に参加しました！

先日、中国四国酪農大学校にて約2週間の酪農実習に参加してきました。全国から研修生が集まり、共に講義や学生に交じって朝晩の搾乳を行いました。酪農の現状や畜産経営の大変さなど、今回学んだことを活かして農家を支援していきたいです。



### 岡山畜産便り 10月号(秋季号)

第75巻 第6号(通巻713号)

令和6年10月28日発行

定価250円(消費税・送料含)

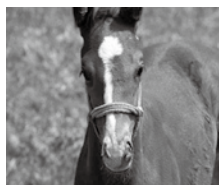
発行人 柴田範彦 編集人 藤原裕士

発行所 一般社団法人 岡山県畜産協会

〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18 岡山県農業会館5階

TEL 086-221-0511 FAX 086-234-6031

印刷所 ノーイン株式会社



動物の健康は  
人の健康につながる

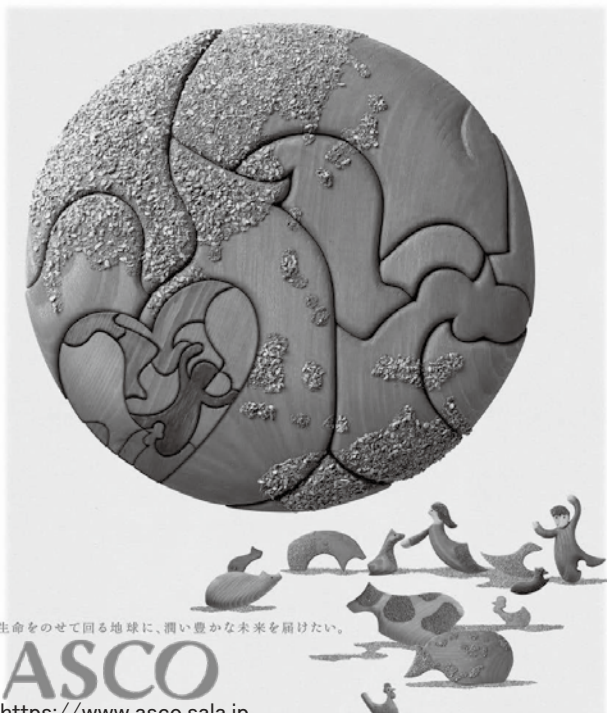
- 動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康維持に貢献します。
- 安全な畜水産物の生産をサポートし、獣医療の発展と食の安全・安心に貢献します。

MPアグロ株式会社

本社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13  
TEL 011(376)3860 FAX 011(376)2600

|                                                                                       |           |                 |                  |                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------------|------------------|------------------|
| 岡山支店                                                                                  | 〒709-2122 | 岡山市北区御津吉尾1ー1    | TEL 086-724-4880 | FAX 086-724-4889 |
| AHSC西日本                                                                               | 〒702-8032 | 岡山市南区福富中2丁目6ー18 | TEL 086-902-2210 | FAX 086-264-2500 |
| 御津物流センター                                                                              | 〒709-2122 | 岡山市北区御津吉尾1丁1    | TEL 086-724-4816 | FAX 086-724-4882 |
| 東京本館・札幌・旭川・函館・帯広・北見・釧路・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・東京・北関東<br>大阪第一・大阪第二・兵庫・広島・山口・鳥取・島根・高松・徳島・松山・宇和島 |           |                 |                  |                  |
| 福岡オフィス・福岡第一・福岡第二・熊本・宮崎・鹿児島・鹿屋                                                         |           |                 |                  |                  |
| 札幌物流センター・帯広物流センター・盛岡物流センター・関東物流センター                                                   |           |                 |                  |                  |

人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します



**本社** 〒441-8021  
愛知県豊橋市白河町100番地  
TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

〒103-0027  
東京本社 東京都中央区日本橋1丁目16番地3号  
日本橋木村ビル7階  
TEL 03-6225-5790 FAX 03-6225-5791

- 北海道支店  
札幌
- 東日本支店  
前橋、松本、旭、茨城、栃木、東京  
大宮、宮城、福島
- 中日本支店  
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- 西日本支店  
広島、山口、米子、岡山、大阪、京都

岡山畜産だより  
令和六年十月号(秋季号)  
(第七十五巻第6号通巻七二三号)

令和6年10月28日発行

岡山市北区磨屋町九一十八 岡山県農業会館  
発行所 岡山県畜産協会の

|    |       |       |       |
|----|-------|-------|-------|
| 定価 | 一部    | 二五〇円  | (送料共) |
| 年間 | 一五〇〇円 | (送料共) |       |